

まちのくすりやさん 第3号

今回のおはなし

● こどもの夏かぜの話

● ザ・タバコ(女性の喫煙)

● Q&A



こどもの夏かぜの話

夏かぜとは、かぜを引き起すウイルスの中でも、気温や湿度が高い時期に活発になるものが原因となる病気の総称です。夏から秋にかけて多く起こる症状を2つご紹介します。

★ プール熱（咽頭結膜炎）とは？

《主な症状》プール熱は4～10歳程度の小児に多く発症します。5日間程度の潜伏の後、39～40度の高熱が出て、のどが真っ赤にはれる咽頭炎や結膜炎を併発します。下痢、吐き気を訴える事もあります。

《注意すべき症状》涙や目やにが出たり、眼痛を訴えます。眼症状が重い時は眼科を受診しましょう。

《原因ウイルス》アデノウイルス

《感染様式》飛沫・感染接触など(以前は学校のプールで感染する事が多かった為、「プール熱」と名前がつけました)

《登校の可否》原則として出席停止です。

★ 無菌性髄膜炎とは？

《主な症状》無菌性髄膜炎は成人もかかる事がありますが、主に小児や乳幼児で、髄膜(脳と脊髄を覆っている膜のこと)に炎症が起こる病気です。高熱や、髄膜が刺激されて首の後ろが硬くなる等の他、頭痛やおう吐、下痢があります。他の夏かぜの症状と合併して起こる事もあります。

《注意すべき症状》脱水症状を起こしやすいので入院治療が必要になることがあります。また細菌によって起こる“細菌性髄膜炎”という重篤な病気もある為、髄膜炎が疑われる時は早めに受診して検査しましょう。

《原因ウイルス》多くのエンテロウイルス

《感染様式》飛沫感染・経口感染

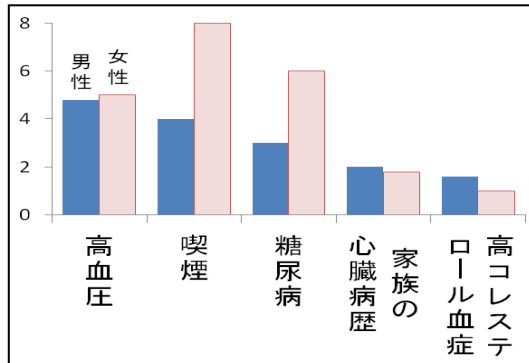
《登校の可否》患者本人の状態によって判断します。

かかってしまったら・・・注意点

1. 水分補給(脱水症状に気をつけて)
2. 食事(喉越しがよい柔らかいものを)
3. 栄養バランス(ビタミン・ミネラルが不足がちになります。しっかり摂りましょう)

日本人女性の危険要因・・・心筋梗塞 喫煙で8倍！

日本人女性が心筋梗塞になる危険要因のトップは喫煙で、タバコを吸う人は吸わない人より8倍も危険性が増す事が明らかになりました。男性でも、タバコをすう人の方が危険性が4倍高く、喫煙は高血圧に次ぐ要因でした。



2002年に急性心筋梗塞を初めて発症した全国の患者 1,925人(平均67.7歳、男性 1,393人、女性 572人)と、年齢と性別の割合を患者に合わせた健康な 2,279人のデータを分析したものです。

熊本大調査



Q&A

Q:同じ成分の飲み薬と坐薬では、副作用の差はありますか？

A: 飲み薬と同じ成分である坐薬を使用する時、飲み薬と同じような副作用が発生することがあります。解熱鎮痛の薬を使ったときに生じる胃腸障害の副作用を例にしますと、飲み薬ほどの頻度ではありませんが、坐薬でも胃腸障害が発生すると言われています。

Q:「とびひ」って何ですか？注意事項も教えてください。

A: 「とびひ」とは、正式病名で言うと、伝染性膿痂疹の事で、学校伝染病にもなっていて、細菌の感染による伝染性の皮膚炎です。火事の飛び火のようにあつという間にひろがるので、「とびひ」といいます。プールや水泳などは、他人に移す恐れがある為、完全に治るまで禁止です。



一言メッセージ **“浦安市薬剤師会会員が、AED講習会受講”**

今年度から、浦安市薬剤師会会員は約10名ずつ順番に、3ヶ月に1回、浦安市消防本部において、AED（自動体外式除細動器）を含む救命救急講習会を受講しています。

ご意見、ご質問、ご感想など、お気軽にお寄せ下さい。

(社) 浦安市薬剤師会 〒279-0004 浦安市猫実1-2-5 健康センター内

Tel 047-355-6812 (月～金: 10～15時)

Fax 047-355-6810

メールアドレス yakuura@violin.ocn.ne.jp